国立国語研究所学術情報リポジトリ

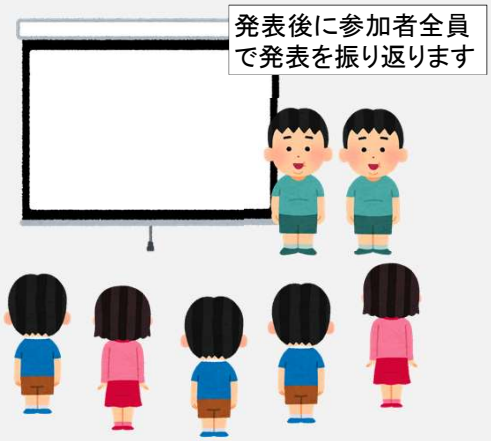
観察支援システムFishWatchrで実習活動の観察・振り返りをしてみよう！：発表練習，ディスカッション練習を例として

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2021-06-25
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 山口, 昌也
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00003415

観察支援システムFishWatchrで実習活動の観察・振り返りをしてみよう！
― 発表練習，ディスカッション練習を例として ―

山口昌也 （音声言語研究領域）

発表練習やディスカッション練習を支援する方法を研究しています



発表者
- □ 自分自身を観察したい！
- □ みんながどんな風に思っているのか，もっと知りたい

聞き手
- □ 自分も意見を言いたかった
- □ あのシーンについて言いたい。みんな覚えているかな？
- □ Aさんはああ言っていたけれど他の人はどうなのかな？

先生
発表の評価や指導に使いたい
・実際のシーンを詳しく見たい
・聞き手も評価したい

グループディスカッションの後に，グループ全員でディスカッションを振り返ります

実習活動上の問題を解決する方法を考えました

スマートホンで観察できる“FishWatchr Mini”を作りました

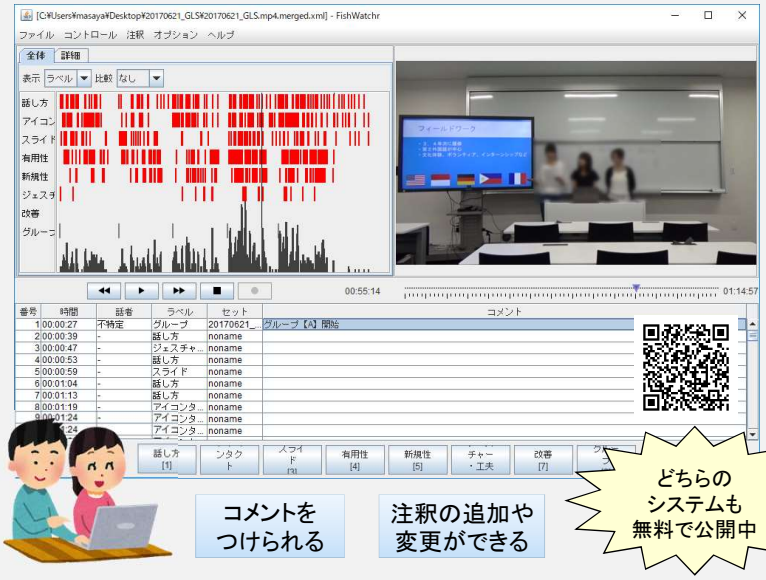
自分のスマホで簡単に記録できる

気づいたシーンでボタンを押す！

ビデオとの同期も可能

全員の観察結果を統合

ビデオを見ながら，じっくり観察できる“FishWatchr”を作りました



コメントをつけられる

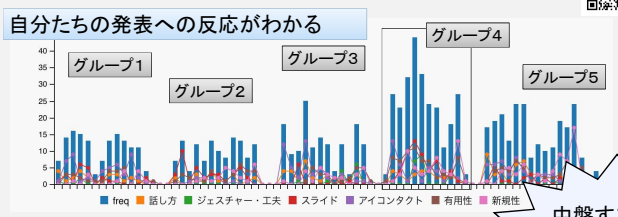
注釈の追加や変更ができる

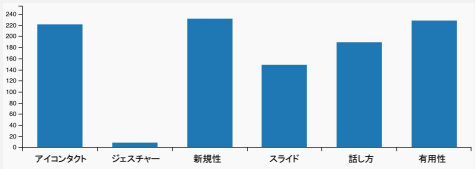
どちらのシステムも無料で公開中

こんな効果があることがわかりました

発表練習の結果（FishWatchr Miniを使いました）

自分たちの発表への反応がわかる

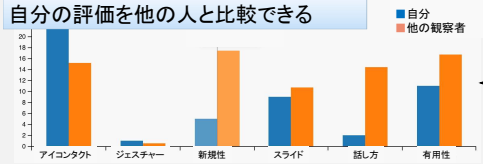




発表者（グループ4）

中盤すごく評価されたな。ジェスチャーをもっとつけよう

自分の評価を他の人と比較できる



聞き手

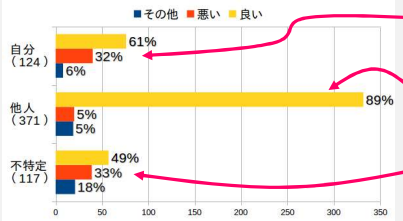
「話し方」をもっと観察しなきゃ

ディスカッション練習の結果（FishWatchrを使いました）

従来の方法と比較してよいところを，利用者に聞きました（32名79件）

- 観察結果が利用できる 33件
  - 「みんなが良い悪いと思う点が共通しているかどうかが一目でわかる」
- 自分自身を観察できる 23件
  - 「客観的な目線で自分たちのディスカッションを見ることができる」
- 実シーンを閲覧できる 17件
  - 「映像という客観的な証拠があるので，振り返りに説得力が出る」

観察の傾向を調べました



自分の短所についても評価
⇒ 短所の認識と反省を促す

他人の長所を評価
⇒ 良い点を指摘してもらえる

他人の短所は不特定で評価
⇒ 悪い点も指摘してもらえる